

第2章 観光を取り巻く状況の変化

第1節 人口減少・超高齢化社会の到来

我が国の総人口は、出生率の低下により、今後ますます減少することが見込まれる一方で、超高齢化社会を迎えようとしています。

本市のまちづくり総合計画で示した国の人口推計では、平成22年の国勢調査人口1億2805万人(100%)から、平成32年には1億2410万人(96.9%)、平成42年には1億1661万人(91.1%)に減少するとされています。

また、平成37年における75歳以上人口は、約2178万人でおよそ6人に1人が75歳以上の高齢者となると見込まれています。

【日本の将来推計人口】



※表中のパーセントは、75歳以上の割合

【出典】将来人口の推計(国立社会保障・人口問題研究所推計値)

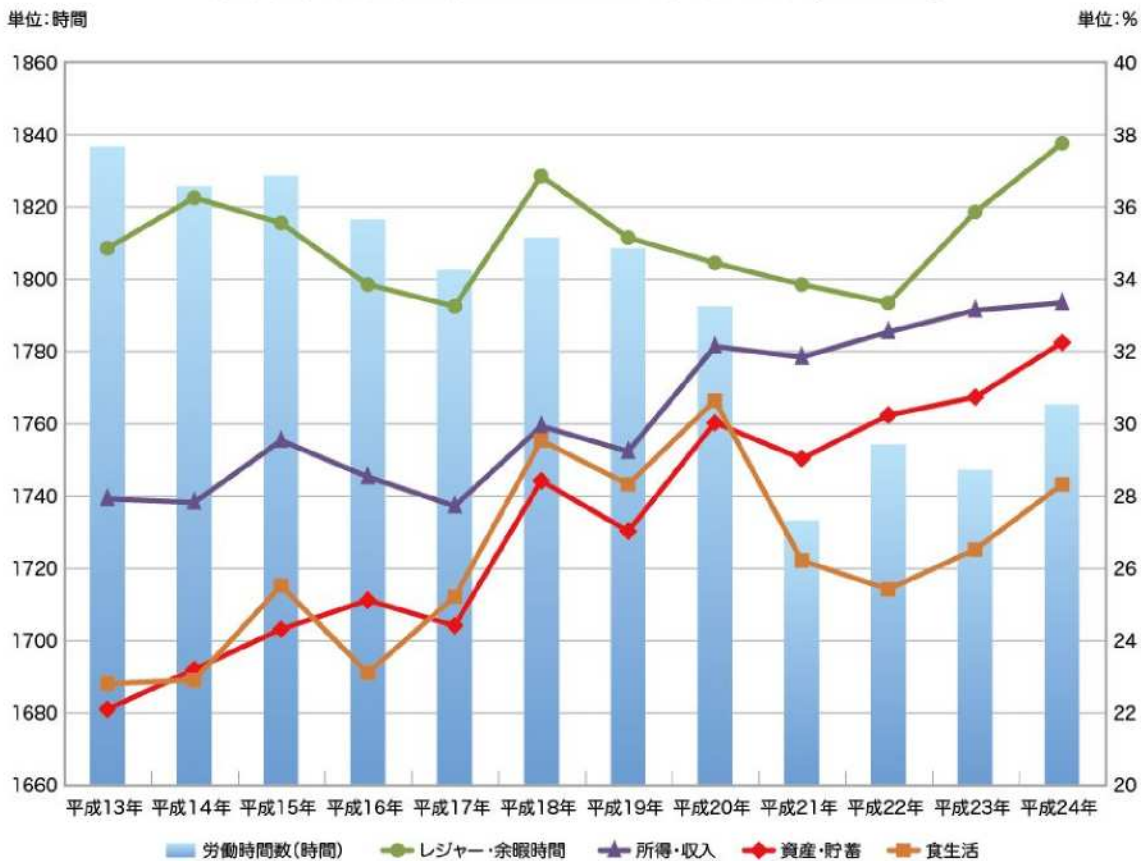
第2節 ライフスタイル・価値観の変化

労働者一人当たりの平均年間総実労働時間は減少傾向が続いており、これに伴い余暇時間は増大しています。今後の動向として観光・レジャーへの関心は一層高まっていくことが予想されます。

また、社会や組織とは別の自由な立場での「個人活動」を好む人が多くなるとともに、人々の観光・レジャーに関するニーズは多様化しています。

一方、コミュニティ意識の希薄化も広がりつつあることから、それぞれが相互の価値感を理解するなど、人と人とのつながりが重要視されています。

【年間総実労働時間と生活の力点(上位4項目)の対比】



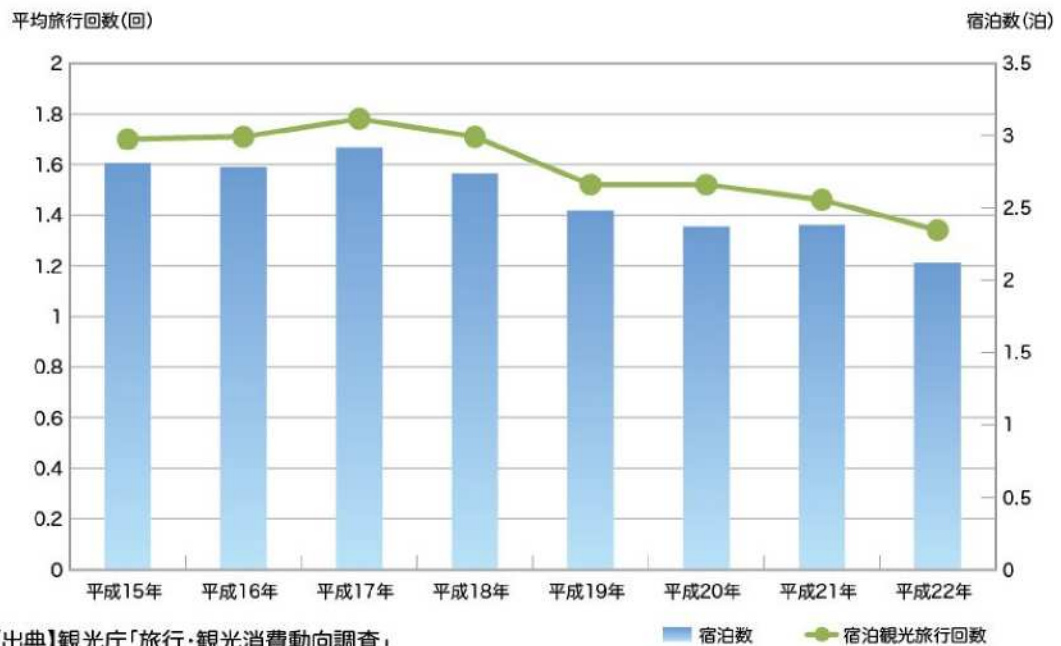
【出典】内閣府大臣官房政府広報室「国民生活に関する世論調査(H26年6月)」

第3節 旅行形態の変化

これまで、観光名所や大規模観光施設を訪れる「観る」観光がスタンダードでしたが、現在では、地域に暮らす人々の生活文化や食文化、地域固有の遺産などの地域資源を直接体験することにより喜びを共有する「感じる」体験型観光への関心が高まっています。

一方、高速道路のサービス充実や新幹線の高速化、航空運賃の低価格化などに伴い、宿泊旅行から日帰り旅行へと旅行形態も変化してきています。このことより、一人当たりの年間旅行回数や宿泊数、旅行関連に対する支出額は減少傾向にあります。

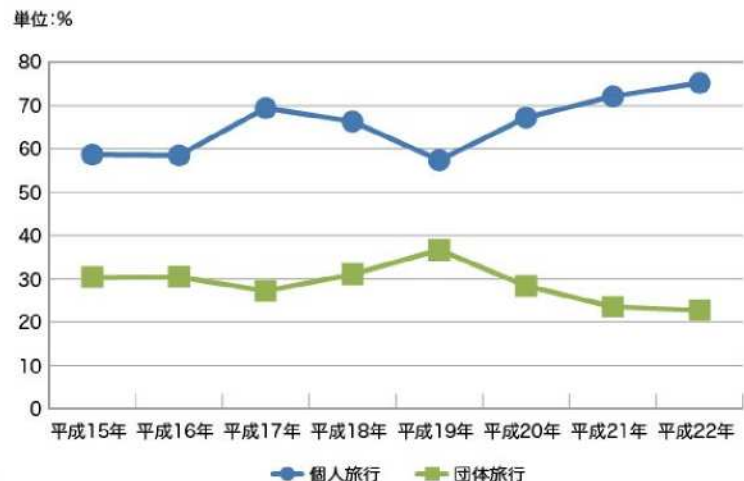
【国民1人当たり国内宿泊旅行回数及び宿泊数】



【出典】観光庁「旅行・観光消費動向調査」

また、旅行ニーズの多様化等を受け、家族や友人など少人数での「個人旅行・グループ旅行」に観光客の志向が変化しています。

【個人グループ旅行と団体旅行の比較】



【出典】
社団法人日本観光振興協会
「平成23年度版観光の実態と志向
第30回国民の観光に関する動向調査」

宿泊を伴う国内観光旅行における、団体、個人旅行件数の推移

第4節 情報化社会の進展

インターネットなどの普及による情報化が進み、観光客の情報収集手段も多様化してきています。特に、近年ではスマートフォン等の急速な普及から、インターネット情報の収集がさらに身近なものになりました。

観光分野においてもホームページ、SNS※1等を活用することにより、簡単かつ迅速に多くの情報収集が可能となり、旅行の計画を立てる場合や実際に旅行先を周遊する時の支援ツールとして、利便性の高いサービスを提供することができます。こうしたことも、観光客のニーズの変化に大きく影響しています。

【インターネット利用者数と普及率及びスマートフォン普及率の推移】



【出典】総務省「平成25年通信利用動向調査」

※1 SNS・・・インターネット上の交流により社会的ネットワークを構築するサービス
例) ブログ、twitter、facebook、Lineなどの交流サイト

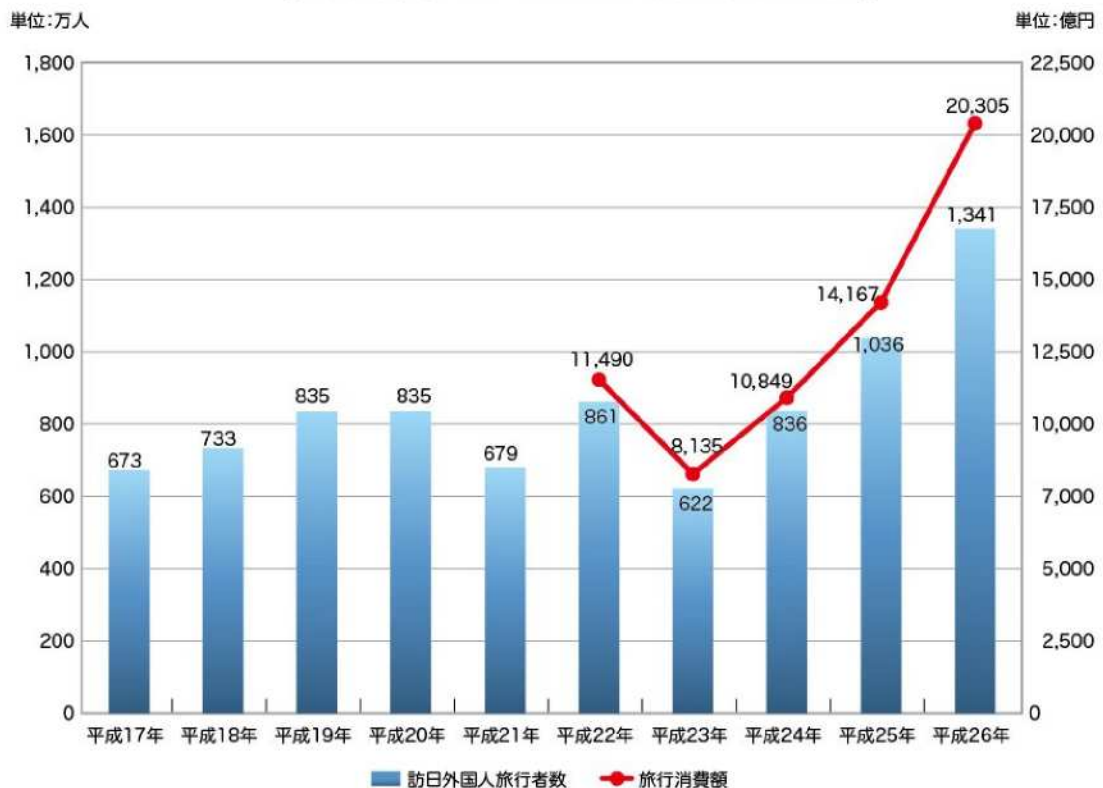
第5節 グローバル化の進展と訪日観光

外国人の日本の観光地に対する関心の高まりや交通網の整備、低価格航空の参入等により、海外からの旅行者が増加しています。

訪日外国人誘客は、伝統文化などの地域資源を活性化させ、地域の魅力向上や地域経済の活性化に高い効果を生み出します。

国の観光立国推進基本計画では、訪日外国人年間旅行者数を平成32年(2020年)初めまでに2,500万人とすることを念頭に、平成28年(2016年)までに1,800万人とする目標を掲げて国際観光の振興を図っており、「国内外から選考される魅力ある観光地域づくり」、「国際会議等のMICE※2分野の国際競争力強化」などに取り組むことにしています。

【旅行消費額と訪日外国人旅行者数の推移】



【出典】観光庁

※2014年の調査より、インドネシア、フィリピン、ベトナムの3ヶ国を調査対象に追加しました

※2 MICE・・・企業等の会議(Meeting)、企業などの報奨・研修旅行(インセンティブ旅行:IncentiveTravel)、国際機関や団体・学会などの国際会議(Convention)、展示会・見本市・イベント(Exhibition/Event)の頭文字で、多くの集客交流が見込まれる、ビジネスイベントなどの総称。



徳山動物園のイメージキャラクター「しゅうぞうくん」